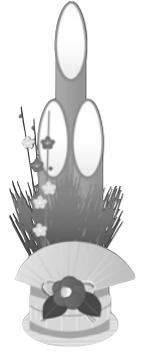


謹賀新年



根室市議会議長
波多雄志



根室市長
長谷川俊輔

新春を迎えて

平成24年の輝かしい新春を迎え、根室市議会を代表いたしまして市民皆様に心よりお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月11日に発生いたしました「東日本大震災」により、これまでに経験をしたことの無い甚大な被害を受け、多くの方が犠牲となりましたことに、心より哀悼の意を表すところであります。

根室市は、幸いにも人的被害を受けることはありませんでしたが、花咲港などの港湾施設や漁船を失うなど、多くの被害を受けたところであります。

そのような中、明るい話題となった2年連続のサンマ水揚げ日本一。また、新たな取り組みとして、根室市アジア圏輸出促進協議会が中心となって進めているベトナムに向けてのサンマの輸出が動き出しました。

市議会といたしましては、市民の負託にこたえる開かれた議会を目指して議会改革調査等特別委員会を設置し、「市民と議会、行政と議会の関わり」「議員定数や報酬のあり方」などについて、精力的に取り組んでいるところであり、本年6月ごろをめどに一定の結論を出したいと考えております。

市中経済はまだまだ厳しい状況にあります。が、さまざまな課題解決に向け、関係団体と一体となって取り組んでまいります。

今年一年が、市民皆様にとりまして希望に満ちた実り多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

年頭にあたって

新年あけましておめでとうございます。

「朝日に一番近いまち」根室の輝かしい平成24年の初春を、市民皆様とともに迎えることができましたことを、心よりお慶び申し上げます。

昨年は「東日本大震災」への対応をはじめ、多くの難題を抱えた年でもありましたが、市民皆様をはじめ、産業経済界などから絶大なご支援とご協力をいただき、まさに「オール根室体制」でさまざまな課題の解決にあたってまいりました。

今、地方を取り巻く環境は従来にも増して大きく変化しており、加えて、当市では長引く景気の低迷や、人口の減少、少子高齢化など、依然として厳しい状況が続いておりますが、どのような逆境にあっても将来の根室を担う若者や子どもたちが、夢と愛着を持ち、誇りに思えるまちづくりのため、市民の皆様をはじめ、産業経済界などとの連携を一層強化し、この厳しい難局を乗り越えていく決意であります。

また、昨年度から本格的にスタートさせた「根室再興政策プロジェクト」の着実な推進をはじめとして、根室の「再生・再興」そして「前進」に向け、全力で取り組んでまいります。

本年が、皆様にとりましてご健勝で、幸多き最良の年でありますよう、心からお祈り申し上げますとともに、市政に対する一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。